

目 次

まえがき

1. 趣 旨	1
2. 目 的	1
3. 方 法	1
4. 結 果	2
I 全体について	
Q 1 対象児童生徒数／担当教員数	4
Q 2 施設の種別	4
Q 3 訪問教育担当者	5
Q 4 養護教諭の関与／養護教諭との連携	7
Q 5 校医の関与／校医との連携	9
Q 6 養護・訓練担当教員の関与／養護・訓練担当教員との連携	10
Q 7 校内の理解・協力を得るための工夫	12
Q 8 話し合いの機会	14
Q 9 指導経過の引き継ぎ	14
Q10 教員研修の課題	15
Q11 希望する研修内容	19
Q12 訪問教育実施上の課題	20
II 家庭訪問教育について	
Q13 措置理由	24
Q14 指導日数と時間	24
Q15 指導内容	25
Q16 指導内容の相談相手	26
Q17 指導上の留意点	26
Q18 保護者との話題内容	29
Q19 保護者との連携	29
Q20 自宅周辺の利用状況	32
Q21 指導の場の条件整備	32
Q22 福祉・医療サービスの内容	35
Q23 他機関職員との連携	37
Q24 保護者同士のつながりの促進	38
Q25 スクリーニングの頻度	40
Q26 スクリーニングの指導時間帯	40
Q27 スクリーニングの指導形態と内容	41
Q28 スクリーニング実施上の検討課題	43
Q29 スクリーニング実施上の工夫	45

Ⅲ 施設訪問教育について	
Q30 指導日数と時間	48
Q31 指導内容	48
Q32 指導内容の相談相手	49
Q33 指導上の留意点	49
Q34 保護者との話題内容	51
Q35 施設・病院以外の指導の場	52
Q36 指導の場の条件整備	53
Q37 施設・病院職員との話し合い	55
Q38 スクーリングの頻度	55
Q39 スクーリングの指導時間帯	56
Q40 スクーリングの指導形態と内容	56
Q41 スクーリング実施上の検討課題	58
Q42 スクーリング実施上の工夫	59
5. まとめ	61
6. 今後の課題	64
資 料	
調査票	65